

# 木造薬師如来坐像

もくぞうやくしによらいざぞう

県指定

所在地：貝田



目は長めかつ伏し目ではれぼったく、眉は大きな弧を描く。引き締まった口元、下膨れの顔等平安時代後期の特徴を持つが、肉付き豊かでボリュームのある胸、また膝部分の衣文に見られる形式化は鎌倉時代の特徴である。

膝前と裳先（裾先）は室町期の後補、手首の接ぎ足しと漆箔（金箔）は江戸時代末期の後補である。

蔵六寺所在。

像高77cm。